

郵便はがき

料金後納郵便

From SRA HD



証券コード 3817

2025年3月期

第3四半期 株主通信

2024年4月1日～2024年12月31日

株式会社SRAホールディングス

〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-32-8

TEL: 03-5979-2666 <https://www.sra-hd.co.jp/>

2024年12月末日の株主様にお送りしております

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1

TEL: 0120-232-711(フリーダイヤル)

(返還先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部



株式会社SRAホールディングス

ハガキがぬれている場合は乾かしてからご覧ください

株主の皆様へ

皆様には、日頃より格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

海外では米中摩擦の継続、中東情勢の緊迫化など地政学リスクの高まりもあり、先行き不透明な状況が継続しています。一方、国内景気は、緩やかながらも回復基調にあり、情報サービス産業においては業務の効率化やビジネスの改革等、投資需要は引き続き堅調に推移しております。

そのような中、当社の第3四半期業績につきましては、「開発事業」、「運用・構築事業」、「販売事業」の全てのセグメントで増加し、特に「販売事業」が好調に推移した結果、売上高が増収、また、粗利益、営業利益、経常利益、四半期純利益について、全て増益となりました。

なお、売上高、売上総利益、営業利益、経常利益ならびに四半期純利益の全てにおいて、第3四半期連結会計期間として「過去最高額」を更新しております。期末配当は計画通り、1株につき90円〔年間配当金170円〕とする予定です。

これからも引き続き、「株主還元の更なる充実」を目指し尽力してまいります。皆様には、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年2月

株式会社SRAホールディングス
代表取締役社長 **大熊 克美**



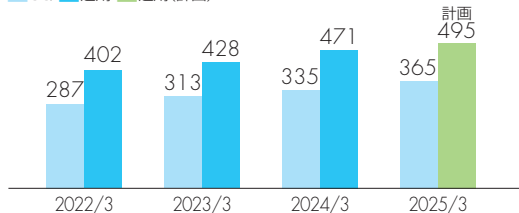


第3四半期 連結業績ハイライト

売上高 **365億円** (通期計画:495億円)

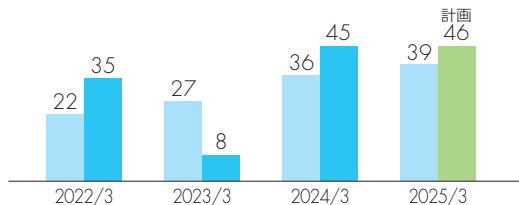
(単位: 億円)

■ 3Q ■ 通期 ■ 通期(計画)



親会社株主に帰属する当期純利益 **39億円** (通期計画:46億円) (単位: 億円)

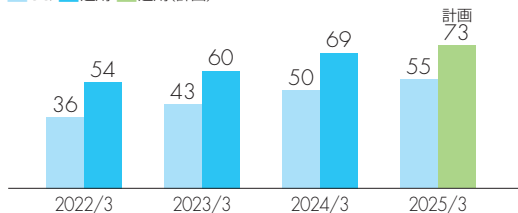
■ 3Q ■ 通期 ■ 通期(計画)



営業利益 **55億円** (通期計画:73億円)

(単位: 億円)

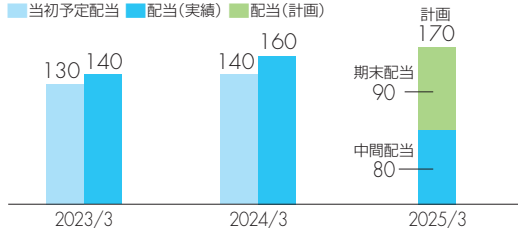
■ 3Q ■ 通期 ■ 通期(計画)



1株当たり配当金

(単位: 円)

■ 当初予定配当 ■ 配当(実績) ■ 配当(計画)



NTTデータグループとの資本業務提携について

昨年5月、ミッションクリティカルな領域（社会インフラや企業の存続に不可欠な重要システム）へのオープンソースソフトウェア適用拡大を目的として、株式会社SRAおよびSRA OSS合同会社は、株式会社NTTデータグループとの間で資本業務提携契約を締結いたしました。同年8月にはSRA OSSを合同会社から株式会社に組織変更するとともに、その株式の34%を株式会社NTTデータグループに譲渡し、10月からは同社からの出向者も受け入れ、順調に共同事業を開始しております。

オープンソースに対するニーズは、基幹業務への適用のみならず、AIやクラウドの基盤を支える分野などでもますます高まるものと考えられます。

今年に入って、中国のAI関連企業が「高性能」で「低コスト」な生成AIモデルを開発したと報道され、大いに話題になりました。この「低コスト」を実現した技術こそオープンソースです。今後、各分野で高性能化が進んでいくなか、「低コスト」との両立が重要なテーマとなり、オープンソースに対する注目が一層高まることが予想されます。

SRAグループは、オープンソースの黎明期からPostgreSQL等に取り組むなど40年近くの実績を有しており、OSSサポート分野では国内屈指の高い技術と実績を誇っています。これからもそのアドバンテージを活かしてお客様の様々なニーズにしっかりと応えすることで、SRAグループの更なる企業価値向上につなげて参りたいと考えております。